

都市計画マスタープラン

プランの全体構想

案がまとまりました

都市計画マスタープランとは？

都市計画マスタープランとは、市町村が住民の意見を反映させつつ、将来のまちづくり（都市計画）の基本的な方針を定めるものです。

このプランは、「全体構想」「地域別構想」「まちなかまちづくり構想」及び市民参加を基本にした「今後のまちづくりの進め方」の4つから構成されています。

全体構想とは？

「全体構想」は、市全体のまちづくりの目標や整備・開発、また保全に関する基本的な構想を定めるもので、次の①～⑤で構成されています。

① まちづくりの方向性

これから持続する事ができるまちづくり

社会・経済情勢の変化などをふまえ、今後のまちづくりの方向性を定めたものです。

市は平成23～25年度にかけて「都市計画マスタープラン」の策定作業を進めています。

策定に当たっては、学識者・各種団体・市民の代表などによる「市民会議」を組織し、幅広く意見を聞きながら作業を進め、昨年度、全体構想の案がまとまりました。今回はその概要についてお知らせします。

② 基本理念

「持続可能なまちづくり」とともに考え、ともに行動する

今後の市のまちづくりの根幹となる考え方を定めたものです。

③ 将来都市像（まちづくりの目標）

基本理念に基づき、生活・産業・交流・自然に係る具体的目標を定めたものです。

④ 将来都市構造（まちの骨組）※下図。

⑤ 分野別基本方針

将来都市像の実現に向けて、施策実施に当たつての基本方針を5つの分野（土地利用・交通・防災・環境・景観）ごとに定めたものです。今年度、各分野の内容を検討していきます。

今回まとまった全体構想案に基づき、引き続き地域別・まちなかまちづくり構想について、市民の皆さんと検討していきます。

「集約・連携型のまちづくり」を目指した富士市の姿

集約・連携型のまちづくりとは
鉄道やバスなどの公共交通沿いに、生活に必要な機能を集め、移動しやすさを確保するまちづくり

